

営農管理アプリで環境負荷低減の「見える化」ができるようになりました！

- みどりの食料システム戦略に基づき、生産者の環境負荷低減の取組を評価し、等級（星の数）で分かりやすく伝える「見える化」（ラベル愛称：みえるらべる）を推進しています。
- 「見える化」のさらなる拡大に向けて、農業者の簡易算定シートの記入負担の軽減など、利便性の向上を図るため、環境負荷低減の見える化システムと連携した営農管理アプリで、「みえるらべる」を取得することが可能になりました。

環境負荷低減の見える化システムとは

- 農林水産省が農研機構WAGRI上に開発した、GHG排出・吸収量等の算定と「みえるらべる」の等級・登録番号付与を自動で行うシステム。
- 本システムに営農管理アプリ等がAPI連携することで、農業者が利用できます。



メリット

- ①アプリを通じてスムーズに算定・報告が可能
(算定シート(Excel)の記入不要・農林水産省への提出不要※)
- ②アプリを通じた報告後、すぐに等級と登録番号が付与され、みえるらべるの使用が可能
- ③過去に報告した算定結果の確認が可能

※入力内容に不明点がある場合、報告後に農林水産省から確認や再算定の連絡を行う場合があります。

連携している営農管理アプリ等一覧

- 株式会社クボタ KSAS (クボタスマートアグリシステム)
提供時期：令和7年7月30日～
対象品目：米（温室効果ガス削減貢献のみ）



KSASについて
詳細はコチラ

- ウォーターセル株式会社 アグリノート
提供時期：令和7年9月30日～
対象品目：米（温室効果ガス削減貢献のみ）※今後「茶」についても対応予定



アグリノートについて
詳細はコチラ

- JA全農 担い手営農サポートシステム (NEサポシステム)※1
提供時期：令和7年10月27日～
対象品目：米や野菜等23品目※2
※1 当該連携は現在一部のJAに限られておりますが、順次拡大を検討中です。
※2 現在の「見える化」対象24品目のうちピーマンを除く23品目



担い手営農サポートシステムについて
詳細はコチラ

環境負荷低減の見える化システムに連携する営農管理アプリは順次追加予定です。

環境負荷低減の見える化システムに関する詳細は
コチラ →

